

小山田小

2025年1月31日
10号
町田市立小山田小学校
校長 小澤 新也
042(797)1824

<https://machida.schoolweb.ne.jp/1310200>

子どもによる子どものための子どもの通知表

校長 小澤 新也

「いよいよ最高学年ですね。みなさんがこれから最高学年として学校の最上級生として様々なことを経験していく中で、将来、社会の中で役立つことがたくさんあります。自分の良い所を最大限にのばし、いろいろな人たちと力を合わせながら、地域や社会で活やくする大人になってほしいと願っています。このパスポートにみなさんの目標やそのふり返りを書きこむことで、「成長の記録」としていきます。」

これは、6年生のキャリア・パスポートの表紙に書かれている言葉です。

現在の6年生が入学した2020年4月から、都内全ての小学校・中学校・高校等で、「キャリア・パスポート」の活用が始まりました。

「キャリア・パスポート」は、学習活動等の振り返りの記録を、キャリア形成の視点から捉え直したものです。「学期のまとめ」、「1年の振り返り」などの形でこれまで取り組んできたことを大切にしながら、キャリア教育の視点から自分を見つめ直す記録（ポートフォリオ）です。

そして、その記録を、学年単位や校種単位で終わらせず、小学校から中学校へ、中学校から高校へと継続的に蓄積していきます。この記録の蓄積を基に、子どもたちは、自らの学習状況やキャリア形成を見通したり、振り返ったりして、自己評価を行うとともに、主体的に学びに向かう力を育み、自己実現を図っていくことをねらいとしています。そういった意味で「キャリア・パスポート」は、子どもによる子どものための子どもの通知表ととらえることができるのではないのでしょうか。

また教員も、子ども一人一人をより深く理解し、発達の段階に応じて系統的に指導するための資料として活用することを求められています。

「キャリア」とは、「人が、生涯の中で様々な役割を果たす過程で、自らの役割の価値や自分と役割との関係を見いだしていく連なりや積み重ね」です。「キャリア教育」は、学校の教育活動を通じて、発達段階に応じ、「キャリア」を形成させていく取り組みであり、社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる能力や態度を育成することを目的としています。

町田市教育委員会の指針を受け、本校でも全ての学年で電子化された「キャリア・パスポート」を作成しています。その内容は以下の通りです。

- ① 1年間の記録をもとに再編集した「1年間の振り返り」
 - ・「学習」、「生活」、「家庭・地域」について振り返る。
 - ・この1年で身に付いたこと、次の学年の目標などを記入する。
- ② 学校行事や体験活動について
 - ・事前の「めあて・目標」、事後の「振り返り」を記録する。
 - ・行事や活動を通して自分の成長や可能性、互いのよさ等を振り返る。

今年度のまとめとして子どもたちが自己評価をした後、保護者の皆様にも励ましの言葉を入力していただくこととなります。お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力お願いいたします。

